

大阪市立大学大学院文学研究科 3 ポリシー

最近改定 2020年1月24日

I. 大学院前期博士課程

1. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人材育成の目標を達成するために設置された教育課程において、所定の単位を修得したうえで修士論文を提出し、厳正なる審査に合格した者に、学位が授与される。

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ・ 人文科学・行動科学の専門領域に関する高度な専門的知識を培う。
- ・ 人文科学・行動科学の専門領域において明確な問題意識をもって研究を行える能力を培う。
- ・ 以上の目標を達成するため、文学研究科では次の4点を重視する。
 - ① 高度な知識と総合的な問題解決能力を身につけることを目標に、学生が所属する「研究分野」を考慮に入れた諸科目をバランスよく履修できるように、「専攻共通科目」と「分野専門科目」を配置する。
 - ② 修士の学位論文の作成のため、指導教員等による「研究指導」を履修し、教員による助言を2年間にわたって受けるようにする。
 - ③ 若手研究者として国際的に活躍できる能力を養うため「インターナショナルスクール授業科目」を用意する。
 - ④ 全学に共通する大学院科目を修得単位として認定する。

3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

- ・ 人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人
- ・ 社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

* 入学者選抜の基本方針は、一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜の各々において定める。

II. 大学院後期博士課程

4. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人材育成の目標を達成するために設置された教育課程において、所定の単位を修得したうえで博士論文を提出し、厳正なる審査に合格した者に、学位が授与される。

5. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ・ 人文科学・行動科学の専門領域において深い学識にもとづき独創的な研究を行える能力を培う。
- ・ 研究成果を国内外に発信できる情報発信能力を培う。
- ・ 若手研究者として国際的に活躍できる能力を養うための「インターナショナルスクール授業科目」について積極的な履修を勧め、全学に共通する大学院科目は修得単位として認定する。
- ・ 博士の学位論文の作成のため、指導教員等による「論文指導」を3年間にわたって履修し、教員による助言を継続的に受けるよう指導する。
- ・ 「論文指導」4単位修得後（通常2年次）の前期セメスター開始時「博士論文作成計画書」を指導教授に提出することを義務づける。
- ・ 博士の学位論文については、3名の教員からなる審査委員会による審査を実施する。

6. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

- ・ 人文科学・行動科学の専門領域に関する高度な知識と独創的研究テーマを有する人
- ・ 研究成果を国内外に発信できる情報発信能力を備えた人

* 入学者選抜の基本方針は、一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜の各々において定める。